



Journal

第12号
2025(R7)年9月12日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

活躍の夏つなぐ秋へ

寒高生夏休みの大舞台

7月下旬から夏休み期間中にかけて各大会が行われた。新聞部では全国総文祭で年間紙面審査で優良賞を受賞し、放送部はNHK杯に出場した。また、水泳部は東北大会に出場し、吹奏楽部は県大会で銀賞を受賞しそれぞれが活躍を見せた。

新 第49回全国高等学校総合文化祭香川大会

新聞部門

日時:7月28~30日

於:四国学院大学・善通寺市民会館

年間紙面審査

優良賞

出場者

木村みらの(2・3)
井場汐梨(2・3)

【顧問寸評】

炎天下、香川の各地取材に歩き、今回初めて会う他校の皆さんと一緒に新聞づくりができたことは刺激が強かったです。私自身は新聞づくりに向かう全国の

高校生の熱量をたくさん感じて頼もしく思いました。

【出場者寸評】

全国各地から集まった新聞部員と交流新聞を作る中で、自分達の知識や技術は不十分な点が多いと感じました。上位の高校は、新聞の紙面構成から記事作成に



香川県の四国学院大学で気合いが入る
木村みらの(2・3)、井場汐梨(2・3)

に至るまで一つ一つのことに注意し、手を抜くことなく取り組んでいて学べることが多かった。今後は、大会で学んだことを部内で共有し、日々の新聞づくりに活用したい。そして、引率の新井先生、多大なるご迷惑をおかけしましたが、引率して下さいありがとうございました。

【選手寸評】

自分が満足できる作品を全国に持つていくことができたため嬉しい気持ちでいっぱいです。これで放送部を引退することになりますが、これからも動画編集を続けていくので、今回学んだことを存分に活かしていきたいです。応援ありがとうございました。



取寄で訪れた高松城の月見櫓

放送 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト

日時:7月21~24日

於:国立オリンピック記念青少年総合センター

NHKホール

ラジオドキュメント部門

「癒しの場所」

準々決勝出場

古澤将太(3・2)

【顧問寸評】

様々な人による取材をして頑張った作品だと思えますが、全国大会

に参加して改めて全国のレベルの高さを感じました。いい勉強になったと思います。

水泳 東北高校選手権水泳競技大会

日時:7月17~19日

於:新青森県総合運動公園マエダアリーナ

50mフリー

予選

400m自由形

26位

松田快政(3・5)

200m自由形

29位

松田快政

400m個人メドレー

44位

宮地蓮(3・3)

200m個人メドレー

45位

宮地蓮

【顧問寸評】

これまで一生懸命練習をやつてきて、その結果を発揮できたと思います。これからも水泳に親しんで泳ぎ続けてください。

新体制で目指す 頂点

地区新人大大会壮行式

9月4日(木)に地区新人大大会の壮行式が体育館で行われた。

相澤哲哉校長先生は、1、2年次を激励する言葉を贈り、生徒会長も全校生徒と「エイオー」の掛け声で選手手を鼓舞した。続いて各部の部長らが大会への意気込みを宣言した。新部長たちは3

年次から引き継いだ思いや伝統を胸に堂々とした姿であった。

そして2年次の先生方には有志応援では、流石の楽曲に乗せた寸劇が始まり生徒を楽しませた。そこでは「自信」「笑顔」「リラックス」「寒

高が好きてあることが大事だと伝えた。3年次が引退し新たなチームとなり臨む初めての大きな大会である。各部の活躍が大いに期待される。



凛々しい表情で決意表明する弓道部

高等學校総合文化祭つてなに? 簡単に説明すると、『文化部のインターハイ』新聞部が出場した新聞部門だけでなく、吹奏楽部門や書道部門など様々。今年度は香川県で行われましたが、毎年開催地が異なり来年度は秋田県で開催されます。

新聞部門では全国から集まった高校生記者たちでランダムに6人の班が作られます。顧問の先生たちもバラバラ、初対面の高校生たちで班ごとに1つの交流新聞を作成します。

吹奏楽 第64回山形県吹奏楽コンクール

日時:8月1日

於:やまぎん県民ホール

銀賞

【顧問寸評】

村山地区大会から2週間の間があつたが、日々の練習の積み重ねもあ